

## 【鹿児島県】

**現在の景気：**生産活動が低調に推移し、厳しい状態が続いているものの、観光関連は引き続き好調、個人消費も一部に持ち直しの動き。

**3か月程度の見通し：**弱含みで推移するとみられている。

**個人消費：**横這い圏内の動き。1月の大型小売店販売は、衣料品が増加、気温の低下から冬物衣料品が増加したものの、飲食料品が前年並み、家電製品が減少し、全体では前年比減少。

2月の乗用車販売は、エコカー補助金や新型車投入の効果から、普通乗用車が前年比46.7%増加、小型乗用車が37.5%増加し、全体では前年比41.3%増と6か月連続で増加。軽自動車販売は前年比26.1%増と5か月連続で増加。

**住宅建築：**一部持ち直し。1月の住宅着工戸数は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、全体では前年比12.7%減と2か月ぶりに減少。

**設備投資：**一部持ち直し。1月の民間建築工事は、件数、床面積、工事費予定額ともに前年比増加。

**公共工事：**低調。1月の公共工事は、件数が前年比減少、請負額は増加。

**輸出：**持ち直し。1月の輸出額は、タイヤ・チューブが減少したものの、半導体等電子部品が増加し、全体では前年比41.5%増と12か月連続で増加。

**生産活動：**低調。1月の鉱工業生産指数（原指数）は14か月連続で前年比低下。電子部品関連は円高が修正されつつあるものの、需要の低迷や海外との競争激化で厳しい状況が続き、受注の動きも弱い。

**観光：**好調。2月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は前年比29.5%増と9か月連続で増加。特に霧島地区は新燃岳噴火の影響で落込んだ反動から前年比2.5倍と大幅に増加。指宿地区も関西・山陽など新幹線沿線や関東からの入込客が大幅に増加。種子島・屋久島地区は団体客が増加。主要観光施設入場者数は九州新幹線全線開業効果からほとんどの施設で前年比増加。

**雇用情勢：**横這い。1月の有効求人倍率は前月比同水準の0.60倍。医療・福祉、卸売・小売業などで採用を増やす動きがみられる。一方、正社員求人の割合が低く、有効求職者数が高水準で推移するなど、雇用情勢は依然厳しい。

## （トピックス）

- 3月25日、中華航空の「鹿児島ー台北」線が就航。台北線は火、木、日の週3便運航。機材は「ボーイング737-800」（158席）を使用し、「鹿児島ー台北」間を約2時間で結ぶ。鹿児島空港へは現在、大韓航空のソウル線と、中国東方航空の上海線が乗り入れており、同空港発着の定期国際航空路線は計3路線。

<主要産業の動向 ー鹿児島県ー >

○電子部品製造業：低調。

○焼酎製造業：1月の焼酎生産は24か月ぶりに前年比増加したものの、出荷は3か月ぶりに減少。

○畜産関連：肉用牛（和牛）の枝肉相場は低調に推移。